



SAPPORO

2008年度

中間決算説明会

2008年8月6日

サッポロホールディングス株式会社

URL <http://www.sapporoholdings.jp/>



アジェンダ

・ 2008年度中間決算総括および2008年度通期業績見込み

1. 2008年度中間決算総括

グループ全体
各事業別

2. 2008年度通期業績見込み

経営計画進捗と今後について

グループ全体
各事業別
持続的成長への取り組み

本資料に記載の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



2008年度中間決算総括

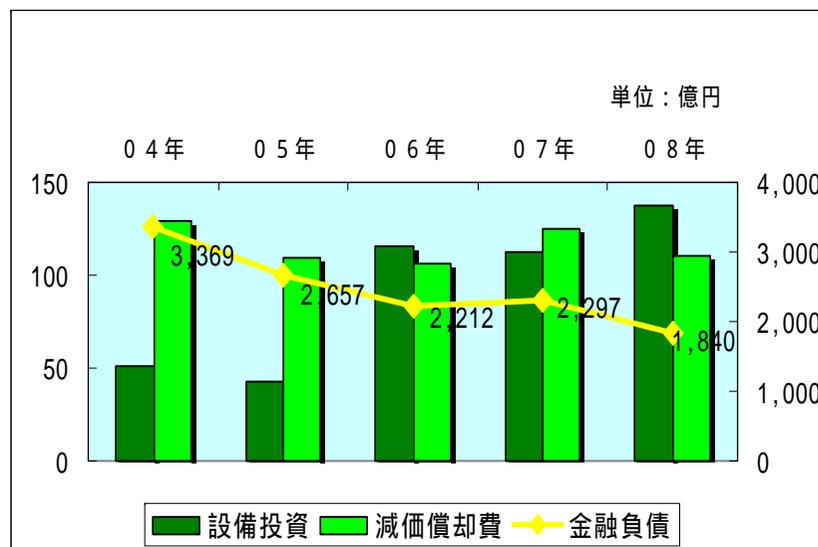
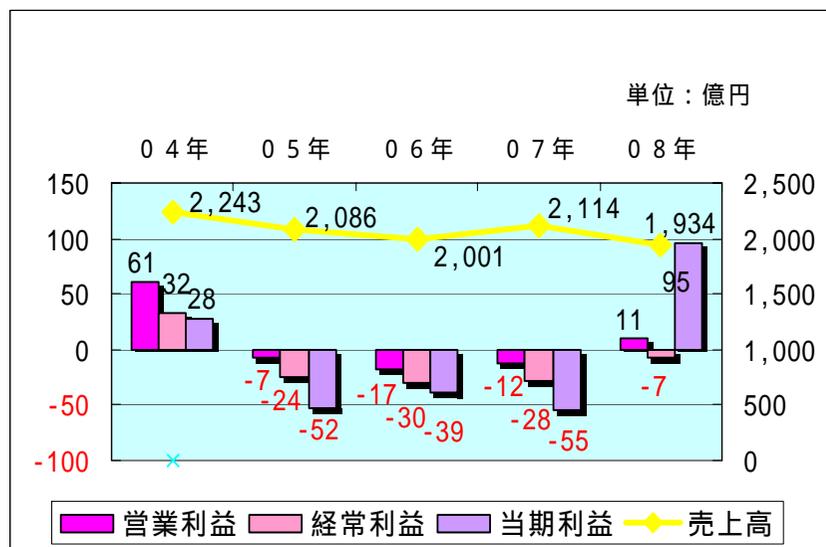


2008年度中間決算総括

売上高、営業利益、経常利益、当期利益の推移

～ 決算推移 ～

金融負債、設備投資、減価償却費の推移



< 2008年度上半期のポイント >

「強みを活かした事業展開と収益基盤の強化」

酒類・飲料事業で売上が減少、原料・資材コストの増加があったが、販促費等のコストコントロールを徹底し増益となった。

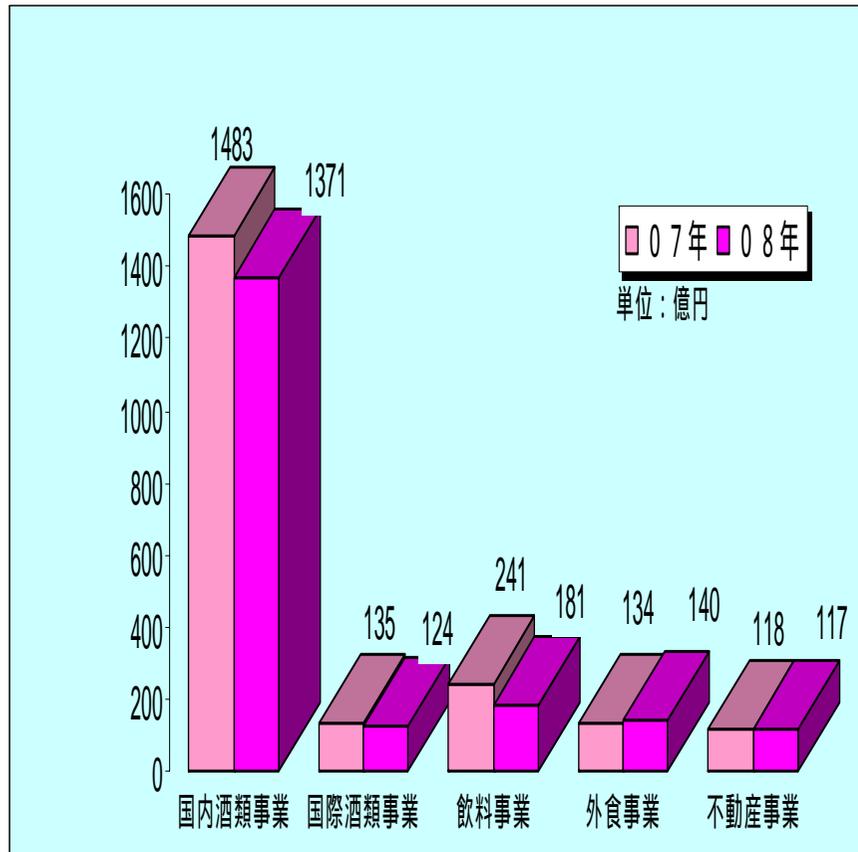
2004年以来の中間期黒字化



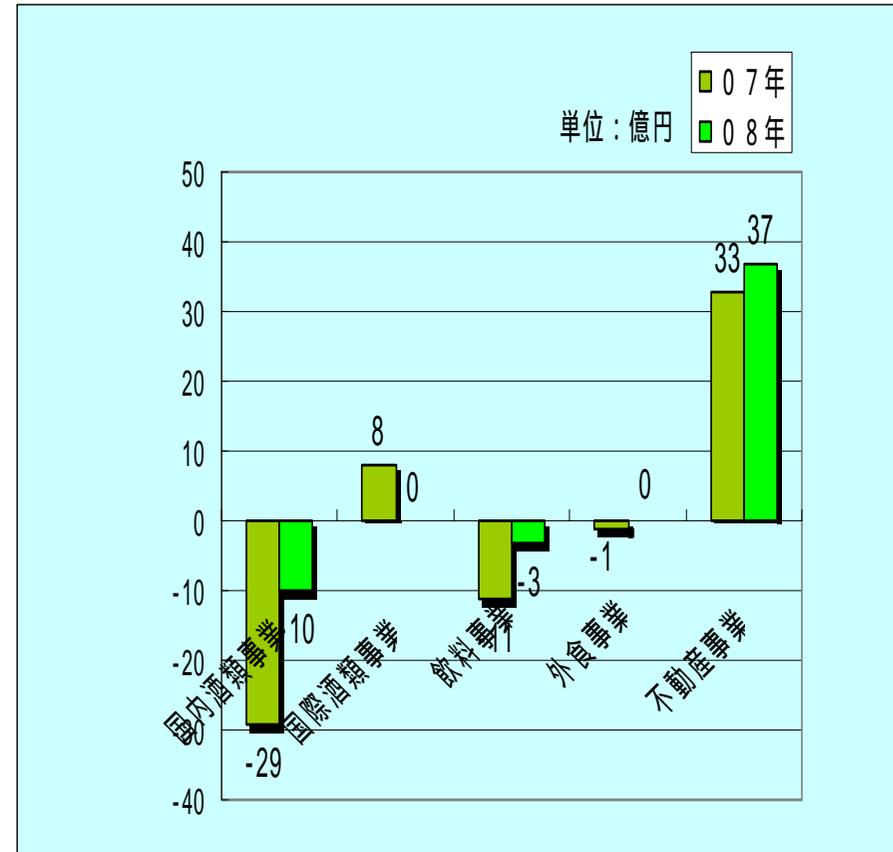
2008年度中間期事業別業績(全事業)

～事業別推移～

売上高の推移



営業利益の推移





2008年度中間期事業別業績(国内酒類事業)

<事業別ポイント>

回国内酒類事業

市場環境 : 食品業界値上げ、生活防衛意識高まり、低価格志向、ビール各社価格改定

総需要前年比96%

原料・資材コスト上昇、安全・安心、健康志向

取り組み : 4月価格改定、主要ブランドへ集中、健康機能系商品発売、

「アビス」等高付加価値商品の拡大、ビールでのシェアアップ、

新ジャンルながらビール並みの飲み応えの「麦とホップ」投入

変化対応力 : 固定費削減、原価低減、大阪工場閉鎖による稼働率向上

安全・安心 : 協働契約栽培への取り組み ドイツ連邦栄誉賞 金賞受賞(日本企業初)



2008年度中間期事業別業績(国際酒類事業)

<事業別ポイント>

回国際酒類事業

市場環境 : サブプライムローンの影響、米国経済減速

北米ビール市場総需要微増、アジア各国概ね拡大

プレミアム バリューへ、原料・資材コスト上昇、為替は円高傾向

取り組み : 北米での積極的マーケティング実施、スリーマン社マネジメント体制見直し

米国への「エビス」投入、為替の影響、スリーマン社前年比105%、

サッポロUSA社前年比108%、その他の輸出事業前年比122%



2008年度中間期事業別業績(飲料事業)

<事業別ポイント>

▣飲料事業

市場環境 : プレーヤー多数、過当競争の継続、大手でも減益

総需要前年比100%

取り組み : 安定した収益構造への転換、クレセント・パートナーズ社との戦略的提携

不採算取引の見直し、商品アイテム絞込み、人員体制効率化、
自動販売機相互提携(伊藤園、ポッカ)

赤字幅縮小、黒字化目処

高付加価値ブランド創出

「オーシャンスプレー克蘭ベリー」「ゲロルシュタイナー」等の強化



2008年度中間期事業別業績(外食事業)

< 事業別ポイント >

▣ 外食事業

市場環境 : 食の安全・安心、ガソリン価格高騰による郊外型店舗低迷、企業業績悪化による宴会需要減退、採用難による人件費増、食材等仕入れコスト増大

多くの外食産業が苦戦

取り組み : 「伝統・安心・安全・満足」がベース、「古くて新しい独自価値」の追求、ビヤホールの復活、サービス・品質レベルの向上

新業態提案による成長の実現「点(ともる)」「かこいや」「入母屋(いりもや)」など和食業態の展開

「那須 森のビール園」4月オープン、地方中核都市への出店、原価率抑制、客単価UP

都市型立地の優位性 既存店売上前年比101.2%



2008年度中間期事業別業績(不動産事業)

<事業別ポイント>

回不動産事業

市場環境 : 住宅市況悪化、不動産業界の不振、東京都心オフィス需要は堅調

取り組み : モルガン・スタンレー・グループとの戦略的提携

Y G P 物件における共同運営をスタート

資産ポートフォリオの拡大

新宿区にて新規不動産物件取得

(再開発による収益拡大)

「サッポロ都市開発(株)」事業開始

(北海道地区新規物件取得予定)

グループ保有資産の価値向上への取り組み

大阪工場跡地の価値最大化検討

既存不動産は高稼働率、賃料改定順調

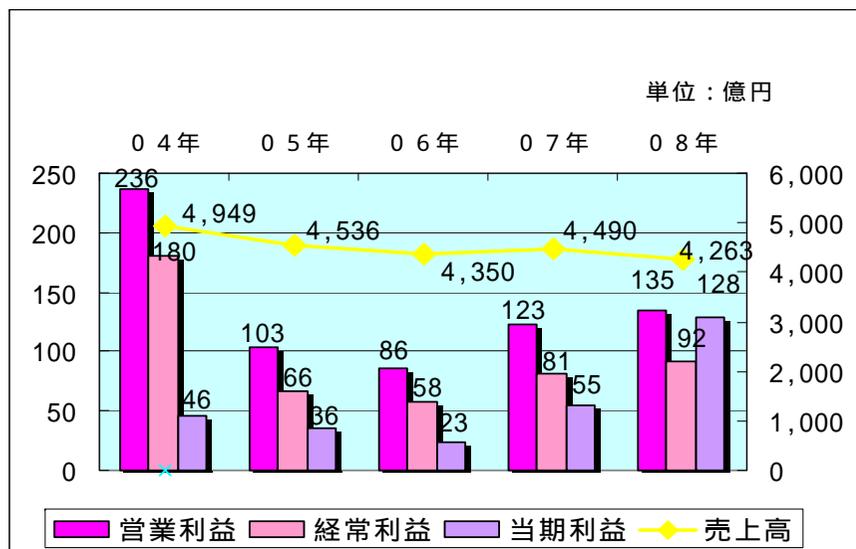
2008年度通期業績見通し 及び 経営計画の進捗と今後



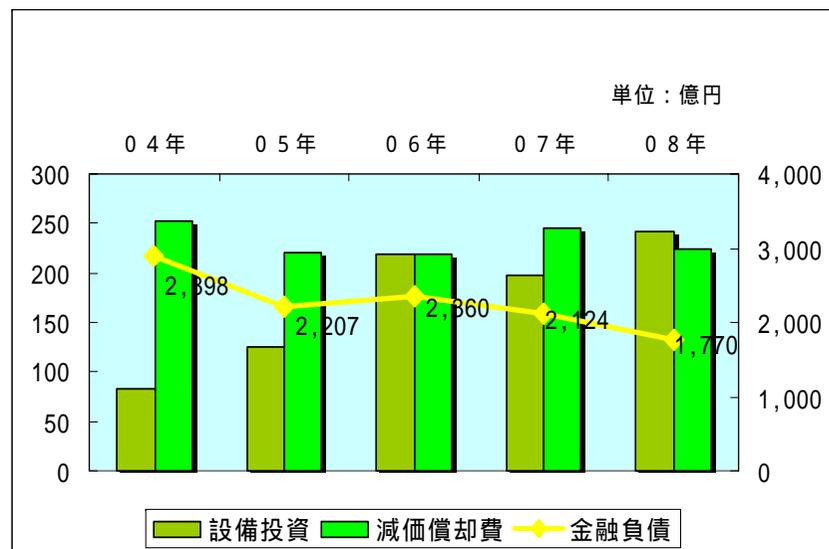
2008年度通期業績見込み

～業績見込み～

売上高、営業利益、経常利益、当期利益の推移



金融負債、設備投資、減価償却費の推移



<業績見込みのポイント>

持続的な成長への取り組み

安定した事業基盤構築へ収益構造改革を着実に実行

見込まれるリスク

- ・低価格化、売上高の減少
- ・原料・資材コストの上昇

- ・コストコントロールの推進



2008年度通期事業別業績見込みと経営計画進捗

～事業別見込みと経営計画進捗状況～

単位：億円

売上高	07年実績	08年見込	08年計画	09年計画	営業利益	07年実績	08年見込	08年計画	09年計画
国内酒類事業	3,158	3,075	3,232	3,210	国内酒類事業	61	75	75	80
国際酒類事業	277	272	286	300	国際酒類事業	16	12	12	14
飲料事業	522	378	436	430	飲料事業	8	5	5	1
外食事業	289	301	301	320	外食事業	6	8	8	10
不動産事業	241	237	237	250	不動産事業	70	74	74	84
					全社	23	29	29	34

<事業別ポイント>

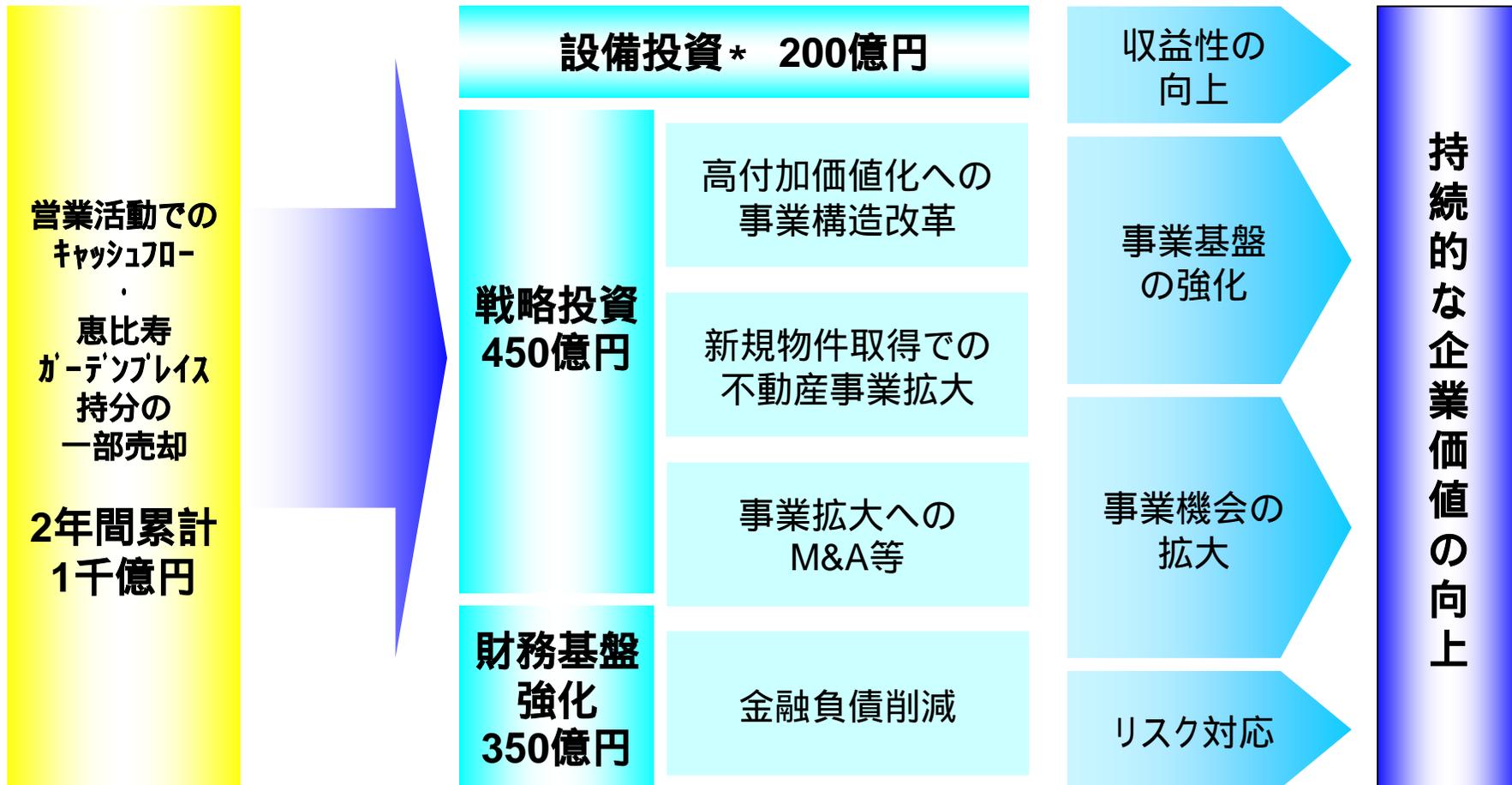
- ▣国内酒類事業 「黒ラベル」「アビス」「麦とホップ」を重点に年間計画達成
- ▣国際酒類事業 スリーマン社を中心に北米をはじめとする海外市場を拡充
- ▣飲料事業 「ゲロルシュタイナー」「生粹」等高付加価値ブランドの創出
- ▣外食事業 既存店の活性化、「かこいや」「入母屋」等新業態店舗の拡大
- ▣不動産事業 資産ポートフォリオの拡大 新規物件の取得
グループ保有資産価値最大化 大阪工場跡地等

為替レート換算:2007年 US\$114.15円、CAN\$116.34円 2008年見込 US\$・CAN\$とも105円計画110円 2009年 US\$・CAN\$とも110円



2008年 - 2009年 持続的な成長への取り組み

2年間で450億円の戦略投資、350億円の金融負債削減を実施



* 不動産投資は戦略投資に含む



SAPPORO

2008年度

中間決算説明会

終了

ご清聴ありがとうございました。

サッポロホールディングス株式会社